

大田区職員9条の会ニュース

第93号 2014年12月19日 編集 大田区職員9条の会事務局
大田区職員労働組合気付

おすすめの1冊

憲法主義 条文には書かれていない本質

本のタイトルはものすごく堅いのですが、本の帯には『一億人のための憲法講義』と書かれていて、AKB48の内山奈月さんに憲法学者の南野森さんがマンツーマンで講義を行った内容が載っています。AKB48といえば、それぞれのメンバーの名前は言えなくても国民的なアイドルグループということは、多くの方が知っていると思います。私は、「アイドルと憲法」というミスマッチな組み合わせに惹かれて読んでみました。



普段仕事をしている中で自分の業務に関係する「法律」を意識することがあっても、「憲法」を意識することはあまりないと思います。そうした方を主な対象読者として対話形式で書かれているので、とても読みやすい本です。

「憲法は国の最高法規だから、国民みんなが守らなければならない」・・・そう誤解している方が多いと思います。でも「憲法が対象とするのは国民ではなく国家権力で、法律は国民を対象とする」・・・ということが正しいのです。

こうした憲法の本質を知れば、集団的自衛権の行使を政府による「解釈改憲」で可能にするのがなぜ危険なのかも理解できます。集団的自衛権によって他国の戦争に巻き込まれる云々以前に、「解釈改憲」は「国家権力を縛る憲法を国民の判断を経ずに弱めることになるから」です。「解釈改憲」は立憲主義（憲法による国家権力の制限）そのものを危うくする暴挙なのです。

こうした解釈改憲の是非についての講義のほかに、集団的自衛権などタイムリーな時事的論点にもかなり踏み込んでいて、昨今の政治的議論を考えるための参考にもなると思います。さらに「AKBの恋愛禁止の憲法学的是非」など、とても興味深い独自の問題設定もあったりして、非常に面白く読めました。

内山さんのまとめには、次のように書かれています。

～憲法の価値とは、「誰が草案を書いたのか」とか「草案の素晴らしさ」がそれを決めているのではない。その憲法が「その国に根づいているか」、「安定しているか」、「適用されてきたか」ということが、その憲法の価値を定めているのだ。そういった観点から見て、日本国憲法は素晴らしい憲法であると思う。～

年末年始の休みの間、『テレビに飽きて、ちょっと読書』という方にはおススメです。



◇著者について

内山奈月(うちやま・なつき)

1995年神奈川県生まれ。人気アイドルグループAKB48のメンバー。愛称はなつきー。
2012年5月AKB48第14期研究生オーディションに合格。13年6月日本武道館における研究生コンサートで日本国憲法を暗唱して話題となる。同年8月に昇格してAKB48Team4に所属。
14年4月AKB48TeamBに移籍、慶應義塾大学経済学部に入學。同年6月AKB48選抜総選挙で初のランクイン。

南野 森(みなみの・しげる)

京都府生まれ。九州大学法学部准教授(憲法学)。
1994年東京大学法学部を卒業後、東京大学大学院法学政治学専攻科修士課程、博士課程、パリ第10大学大学院博士課程を経て、2002年より現職。
主な著作に、『憲法学の世界』(編著、日本評論社、2013年)、『リアリズムの法解釈理論』(編訳、ミシェル・トロペール著、勁草書房、2013年)などがある。

アーサー・ピナードさん講演会

平和ってなあに？ ～海外から見た日本～

日時：2015年1月29日（木）
18時30分～20時30分

場所：大田区立消費者生活センター
大集会室

入場無料

「こんにちは
こちらへどうぞ」
「どこからきましたか？」
「はなしは すこし
きいていますか？」
「むかし むかし……
ほんとうはそういたい
でも ちょっと
むかし むかしに
ならない」

アーサー・ピナード著
『さがしています』から

アーサー・ピナード氏

アメリカ合衆国ミシガン州生まれの詩人、絵本作家、随筆家、翻訳家。文化放送などでラジオ番組のコメンテーターも務める。詩人9条の会会員。



「平和ってなあに」

～アーサー・ピナードさんと考えてみよう～

「この物語が忘れられるのをじっと待っている人たちがいる」

この言葉は、文：アーサー・ピナード 絵：ベン・シャーン 絵本『ここが家だ ベン・シャーンの第五福竜丸』の一節です。この絵本は、60年前の1954年、第五福竜丸というマグロ漁船がマーシャル諸島沖でアメリカ軍の水爆実験によって被ばくした事件のことが描かれています。アメリカ人の画家と詩人が自国の引き起こした事件に向き合い、描き、言葉を紡いでいます。

この本を読んでアーサー・ピナードさんのお話を聞いてみたいと思いました。そして、何度か彼の話聞くことができました。アメリカ人なのに、私たち日本人以上に日本語への鋭い感性や言葉を通して伝わる想いにいつも心が揺さぶられます。もっと多くの人にアーサーさんの話を聞いてもらいたいと思いました。

日本では集団的自衛権の行使を認める閣議決定が行われ、もうすぐ関連諸法制の整備が行われると言われています。でもこのことで、平和憲法の国のはずの日本は、海外からどのように見られているのでしょうか。

大田区職員9条の会では1月29日にアーサー・ピナードさんの講演会を行います。ぜひ多くの皆様の参加をお待ちしています。

主催
大田区職員9条の会